

性をつけたいと考えています。

問 興味を示している企業は何か

答 県外の企業4社です。

【議案第34号について】

問 池新田財産区特別会計予算の財産貸付収入は、前年度から701万9千円の増額です。この増額の理由は

答 具体的な個人名、企業名は控えさせていただきますが、全体として約70件、17万1千㎡の貸付地の積み上げ金額です。

問 高額賃貸料を支払っているところは、昨年度何件で、本年度何件か

答 100万円以上の貸付件数は、29年度、30年度とも9件です。

文教厚生委員会

平成30年3月9日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

【議案第23号について】

問 補正予算の医業費用と附帯事業費用の300万円の放射線防護服は同じ品物か

答 同じ品物です。医業費用は、療養型病棟に関するもの、附帯事業費用は、老健施設に関するものです。

問 放射線防護服は何着用意してあるのか。また、1回着れば処分するのか

答 入所者、職員それぞれ50人分を用意してあります。服は、汚染されている恐れがありますので、1回着たら処分します。



放射線防護服

【議案第26号について】

問 国民健康保険が県へ移管されるが、未納額に対す

る取り扱いは

答 29年度の1期から7期の納期到来分までの収納率が93・8%で、広域化により、県が策定した運営方針が収納率92%です。収納目標をクリアするよう努めます。

問 合併以降、現在の国民健康保険の被保険者数は

答 2月末で被保険者数は8,341人です。75歳到達により国保制度から後期高齢者医療制度へ移行する比率が大きいため、国保の被保険者数は減少傾向にあります。

【議案第28号について】

問 地域包括ケアシステム、地域の第2層協議体の今後の見通しは

答 28年度に朝比奈地区、29年度に比木、高松地区に第2層協議体ができました。現在、佐倉白羽地区で準備を進めています。

第2層協議体

住民が主体となって地域の高齢者の生活課題とニーズを把握し、その解決策を話し合う場

【議案第33号について】

問 家庭医療センターしろわくクリニックの患者数が増加しているが、どこの地域から来るのか、またどの医療機関から移ってきたのか実績は

答 白羽、御前崎地区から約8割、旧浜岡地区が約1割、それ以外が1割程度です。新規患者が多いです。また、半数以上がリハビリ患者で、御前崎総合病院に通っていた御前崎、白羽地区の方が移ってきて増えています。



家庭医療センターしろわくクリニック